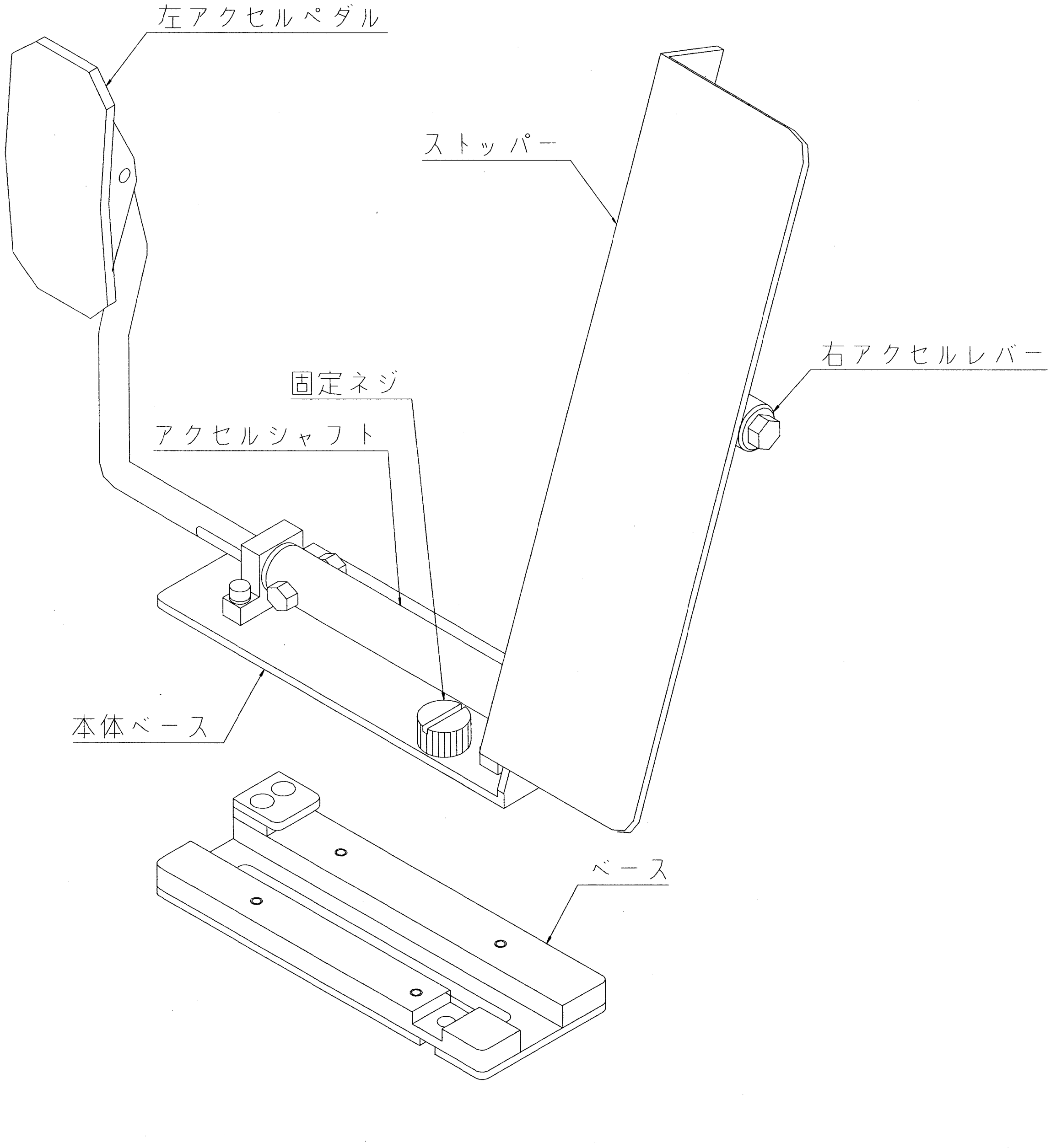
2009.4 第 4 版

レフティー
床置き式左アクセル運転装置
取扱説明書

この度は、当社運転装置をお買い上げ頂き、厚く御礼申し上げます。
当運転装置は、通常右足で行うアクセルを、左足で操作出来る様にした装置です。
工具を使うことなく、簡単なツマミ操作により、取り付け取り外しが出来ます。
当運転装置をご使用される前に、この説明書を最後までお読み頂き、充分に御理解の上ご使用ください。

①各部の名称



②安全上のご注意

・万一取扱を誤りますと、負傷または事故につながる可能性が有ります。

・点検、整備等につきましては、本取扱説明書とあわせて自動車整備手帳をお読み下さい。

記号の説明

⚠ 警告	必ず守って頂きたいこと	生命の危険や重大な事故を避ける為、必ず守っていただきたいこと
⚠ 注意	注意していただきたいこと	注意事項を守らないと、ケガや事故につながったり、装置が破損するおそれがあります。

警告事項　⚠ 警告

・必ず当社及び当社製品取扱店にて取り付けて下さい。

・本装置は障がい者用の左アクセル運転装置です。本来の使用目的以外には使用しないで下さい。

・健常者の方は、使用しないで下さい。

・使用者ご自身での分解、改造はしないで下さい。

・本説明書に記載されている以外の方法で使用しないで下さい。

・運転装置に異常が有る場合は、直ちに使用を取り止め、当社製品取扱店にて点検を受けて下さい。

・ストッパーは既設のアクセルペダルに干渉しないようにするためのものです。足を乗せたりし、フットレストと同様に踏まないで下さい。

注意事項　⚠ 注意

・固定ネジをネジ穴に対し垂直に入るようにして下さい。ネジ山を壊す可能性があります。

・隙間や穴等に指等を入れて挟まないように十分御注意下さい。

・装置に慣れるまで公道での運転には十分御注意下さい。

・１２ヶ月ごとに当社及び当社製品取扱店にて定期点検を受けることを推奨いたします。

・床にゴミ等が溜まると、本体が取り付けベースに取り付けできない場合が有ります。定期的に掃除することを推奨いたします。

・取り外し後は、運転の邪魔にならない場所に保管下さい。

以上の点に反した使用をされた場合、保証出来ない場合が御座いますので御注意下さい。

③使用方法

当運転装置は、通常右足で行うアクセル操作を、左足で操作出来る様にした装置です。
簡単な操作で左側アクセル装置を着脱することが出来ます。

○左アクセルペダルのセット

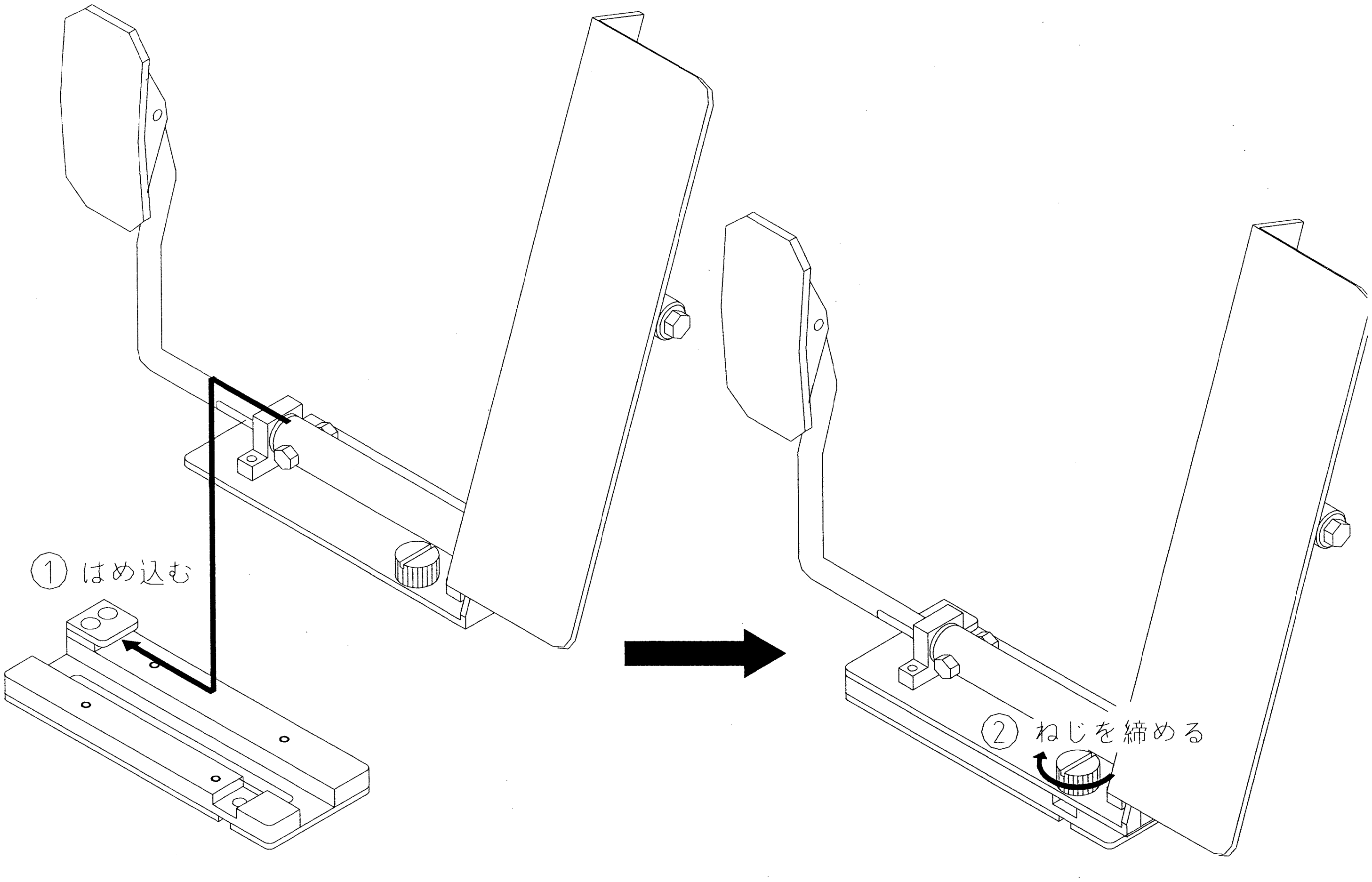
① ベース側フックに本体ベースの切欠きをはめ込むようにセットします。

② 固定ネジを右回しで締め付けます。

注意：固定ネジは、ネジ穴に対し真っ直ぐ入るようにしてください。
ネジ山を壊す恐れがあります。

注意：床にゴミ等が溜まると、本体が取り付けベースに取り付けできない場合が有ります。
ベース部を定期的に清掃する事を推奨いたします。

注意：取り付けの際、指など挟まないようご注意ください。

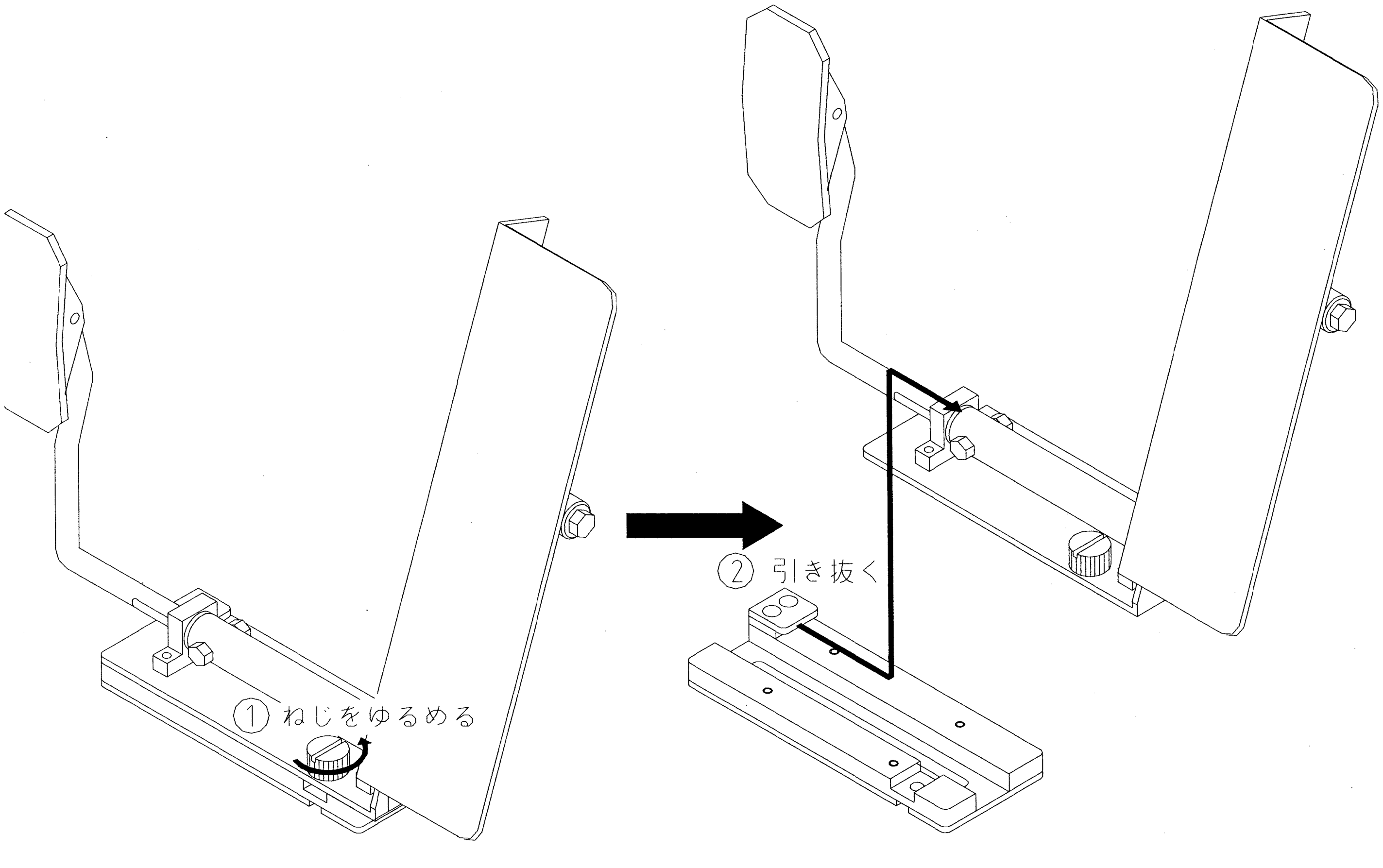


○左アクセルペダル取り外し（健常者使用の時）

①　固定ネジを左回しでゆるめます。

②　左アクセル本体を手で持ち、ベースより引き抜きます。

注意：取り外しの際、指など挟まないようご注意ください。



○アクセル操作

1、アクセルを開けてエンジン回転を上げる場合

ペダルを徐々に踏み込みます。（慣れない内は、ゆっくり操作して下さい）

2、アクセルを戻してエンジン回転を下げる場合

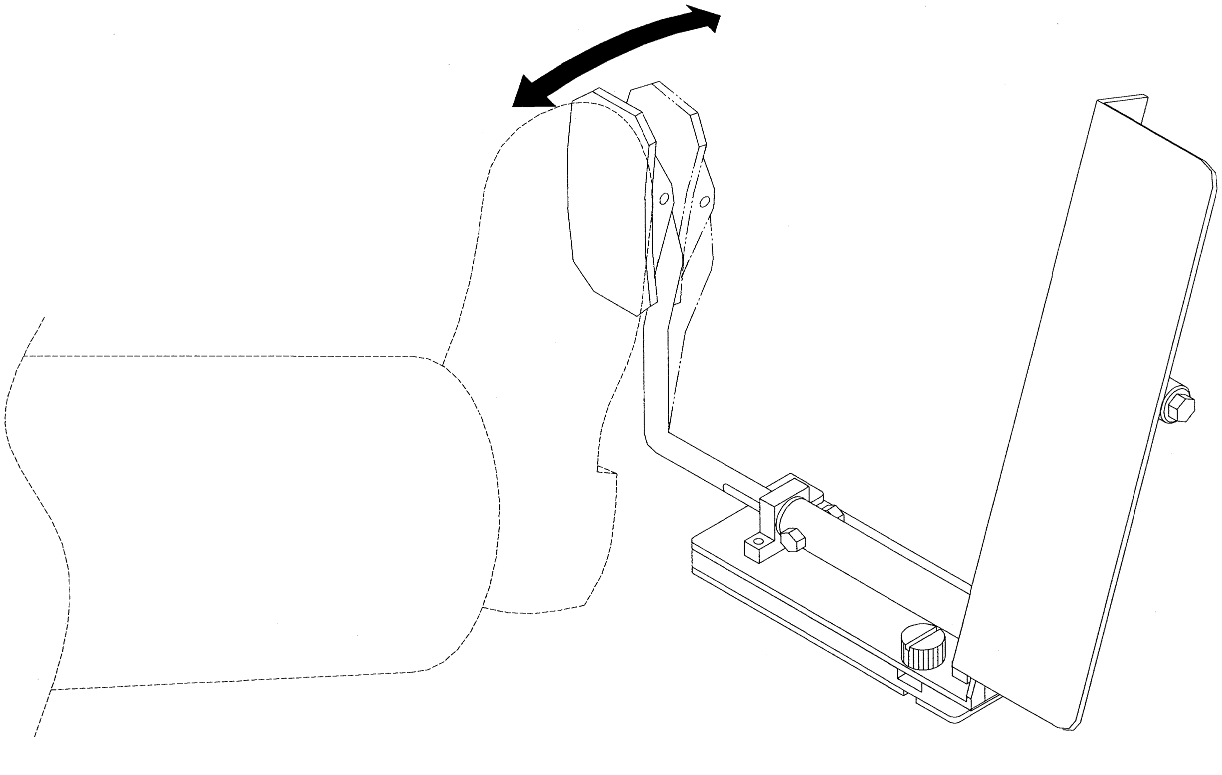
ペダルを踏む力を緩め、アクセルペダルから足を離します。

3、踏み具合によりエンジン回転を調整します。

⚠ 注意：力加減の慣れていない場合、急激にアクセルが開いて急発進をしてしまう場合があります。十分注意して下さい。

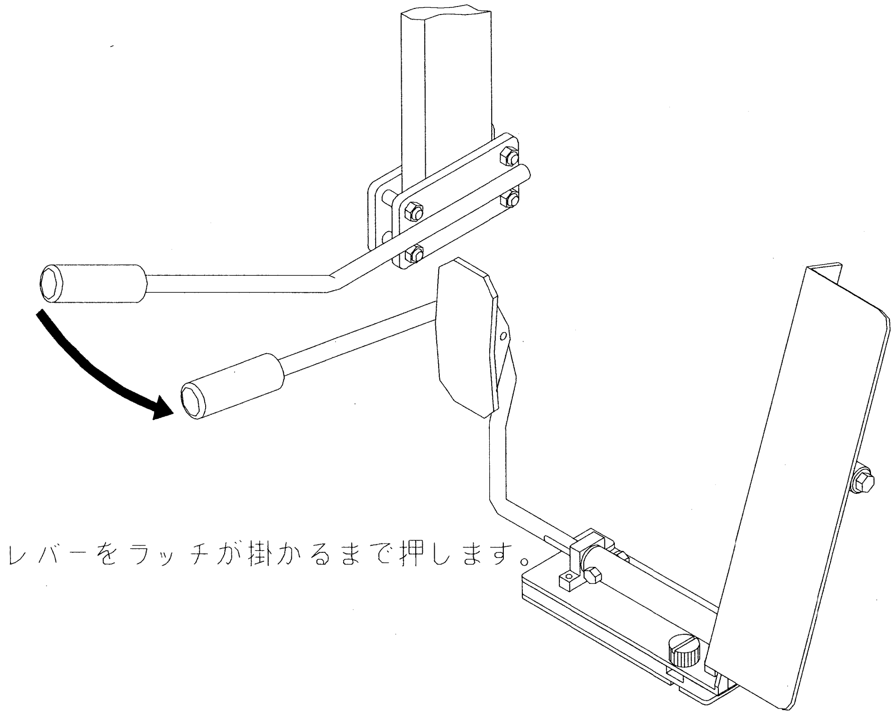
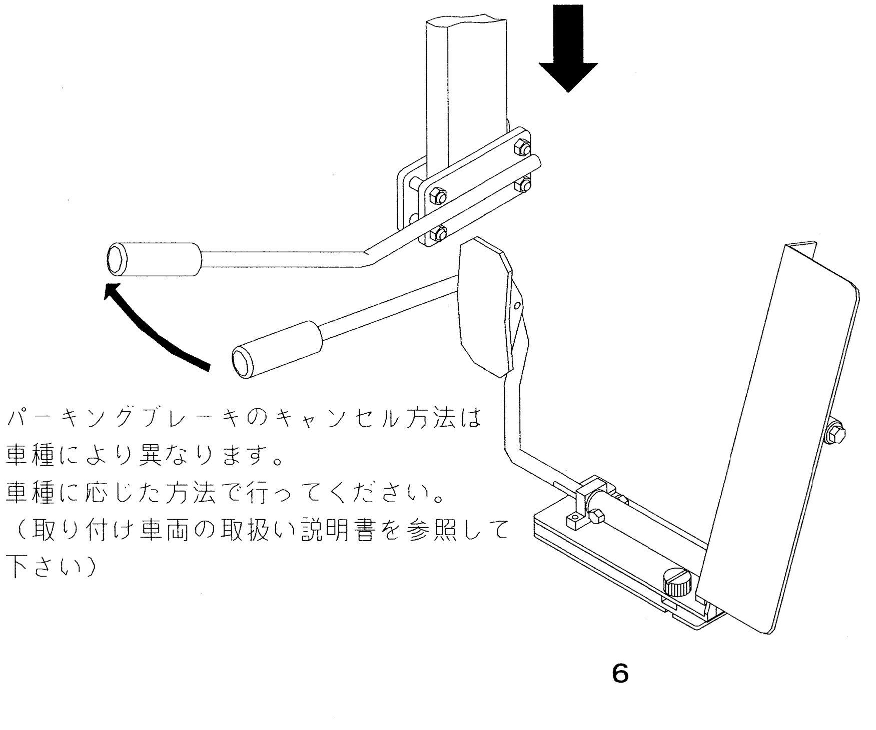
⚠ 注意：装置に慣れるまで公道での運転には十分注意して下さい

⚠ 注意：ストッパーに足を置き、フットレスと同様に踏み込まないで下さい。
万一、アクセルストッパーが外れたり、曲がってしまったりしますとアクセルが作動し思わぬ事故につながる恐れがありますので、十分注意して下さい。



○パーキングブレーキ操作（足踏み式パーキングブレーキ車）

左アクセルを使用するためのスペース確保の為、足踏みパーキングペダルをカットし、手動式パーキングレバーを取り付けすることが有ります。

足踏みパーキングペダルの操作方法は車種により異なります。

取り付け車両の取扱い説明書を御参照下さい